

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICTを用いた双方向性の学習ができた。
- ・話し合い活動や教え合い活動など、対話的な学習ができた。
- ・単元を通して思考する活動ができた。

(2) 課題

- ・基礎・基本の定着を進めるため、演習の時間を増やすべきであった。
- ・資料を基にした考察をより充実させるべきだった。
- ・時事的な課題を基に話し合う活動をより充実させるべきだった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	標準スコアが全国平均より下回っている。		
第2学年	前年度より標準スコアが上昇しているが、全国平均より下回っている。	標準スコアが全国平均より下回っている。	
第3学年	前年度より標準スコアが上昇しているが、全国平均より下回っている。	標準スコアが前年度並びに全国平均を下回っている。	標準スコアが全国平均より下回っている。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。特に、地理分野に関する基本的な知識に課題が見られる。	今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。年表を見て歴史的事象を考察することに課題が見られる。	今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。地図をもとに各国の状況を考える態度に課題が見られる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。特に、歴史の文化に対する基本的な知識に課題が見られる。	今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。特に、資料を基に歴史的な事象に対して考察することに課題が見られる。	今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。特に、複数の資料を比較し読み取る態度に課題が見られる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。特に、歴史的な資料の読み取りに課題が見られる。	今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。特に、地理的な特徴を資料を基に考察することに課題が見られる。	今年度の平均正答率が目標値よりも下回っている。特に、既存の知識を基に資料を読み取り記述する態度に課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理的分野において、地図や映像資料を活用して、理解を深められるようにする。	授業内で年表に触れる機会を増やし、歴史的事象を考えられるようにする。	地図帳を活用することや各国のデータを見る機会を増やしていく。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文化を学習する際は映像資料等を用い文化への理解を深めるようにする。	歴史的な資料を基に話し合い、資料への理解を深める学習を従業において充実させる。	複数の資料を比較し、地理の場合は場所、歴史の場合は時代の違いを比較する学習を充実させる。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
資料を読み、その資料がどのような資料か表現する活動を実施する。	工業や地形などの特徴を地図や資料から読み取る活動を充実させる。	過去に学習した内容と関連のある資料を、話し合いながら考察する活動を充実させる。